

県内各市町村の外国人人口と割合

市町村	2023年人口 (人)	外国人人口 (人)	外国人割合 (%)
北塩原村	2,394	74	3.09
奥島町	6,092	170	2.79
古座川町	4,517	110	2.44
熊野町	6,409	148	2.31
小川町	8,964	192	2.17
小湊町	5,352	114	2.13
西条町	20,616	398	1.93
只野町	3,690	71	1.92
只野町	16,807	323	1.92
只野町	4,732	79	1.67
中島町	7,821	130	1.66
天栄村	5,171	81	1.57
天栄村	57,085	882	1.55
天栄村	1,216	18	1.48
天栄村	11,412	165	1.45
天栄村	4,506	65	1.44
二本松市	50,358	716	1.42
広野町	4,531	64	1.41
川内町	2,233	31	1.39
川内町	12,789	169	1.32
いわき市	303,171	3,786	1.25
富田町	32,982	401	1.22
本宮市	29,712	360	1.21
本宮市	312,433	3,684	1.18
南相馬市	55,774	617	1.11
伊達市	55,997	607	1.08
玉川村	6,050	64	1.06
会津若松市	110,841	1,105	1.00
会津若松市	5,782	55	0.95
石川町	13,854	125	0.92
飯沼町	2,946	26	0.91
福島市	264,652	2,374	0.90
会津坂下町	14,217	127	0.89
猪苗代町	12,552	110	0.88
国見町	8,095	70	0.86
金山町	1,749	15	0.85
喜多方市	43,519	366	0.84
相馬市	32,261	267	0.83
新地町	7,445	61	0.82
須賀川市	72,918	571	0.78
南会津町	13,349	104	0.78
矢野町	5,145	39	0.76
鏡石町	12,356	92	0.74
西会津町	5,408	40	0.74
鏡石町	3,151	23	0.73
鏡石町	5,294	32	0.60
大田町	9,944	60	0.60
大田町	16,080	95	0.59
桑折町	10,951	61	0.56
昭和村	1,085	6	0.55
三島町	1,227	7	0.53
渡江町	14,632	74	0.51
楢橋町	484	2	0.41
大玉村	8,817	36	0.41
柳津町	2,841	10	0.35
柳津町	2,980	10	0.34
会津美里町	18,117	53	0.29
下郷町	4,792	13	0.27
福島県	1,771,314	19,688	1.11

※今年1月の住民基本台帳人口で集計

# 県内外国人割合 28市町村1%超

県内市町村のうち半数近い28市町村で外国人住民の割合が人口の1%を超えたことが2日、政府の統計で分かった。外国人労働者の増加などを背景に、県内で暮らす外国人は増加傾向が続いている。急激に進む人口減少も重なって今後外国人の割合は高まると予想されており、共生に向けた取り組みや地域の受け入れ態勢の整備が急務となっている。

## 共生への取り組み急務

相談窓口の事業にも継続して取り組む。

今年1月時点の県内市町村の外国人人口の大きな壁となっているのが、外国人受け入れを巡っては、27年度に現在の技能実習に代わる新たな受け入れ制度「育成就労」が施行される予定。同制度では条件を満たせば本人の意向で職場を交える「転籍」が可能となり、人口減少が続く中で地域間の「外国人労働者の奪い合い」も懸念されている。

県内では、2023年末に総人口に占める外国人の割合が1%を上回り、その後も増加が続いてきた。大きな要因となっているのが労働力不足を背景に企業が積極的に採用してきた外国人労働者の増加で、23年10月末現在の統計では2千を超え、事業所で1万1987人が働き、10年前から約4・5倍に増えている。一方で共生への取り組みは十分に進んでいない。特に外国人が地域で暮らす際、発する事業や、多言語生活

※グラフ、関連記事を別シートで発信しています

▲11月3日 福島民友新聞掲載

県内人口における外国人割合の増加が続いている大きな要因は何ですか？

外国人割合の増加に伴い、どのようなことが問題となり、懸念されていますか？

県の現状への対応策や関連記事も踏まえ、あなたの感じたことをまとめてみましょう。